

令和7年9月3日

## 小林病院における回復期機能強化に向けた病床再編

## 1 目的

当院は入間市宮寺に所在し、入院・外来診療を行うほか訪問診療、訪問看護、訪問リハビリテーション及び居宅介護支援等を展開することにより地域密着型の医療・介護サービスを提供して地域包括ケアシステムの構築に向けた取組を行っています。

従前より当院は、保健医療計画及び地域医療構想で示された施策の方向性等を参酌して病院の運営を行っているところ、第6次計画内の構想では西部区域の課題として回復期機能を有する病床の大幅な不足が挙げられています。

地域に密着する当院としては、地域の特性を踏まえることが病院を運営する上で不可欠であり、上記課題の解決へ貢献できるよう回復期機能を強化することとします。

## 2 病床再編の推移

	2016.1	2021.1	2022.7	2024.5	2025.5※
急性期病床	36床	32床	26床	22床	14床
地域包括ケア病床	14床	18床	24床	24床	30床
療養病床	49床	49床	49床	49床	49床
合計	99床	99床	99床	95床	93床

※令和7年4月9日許可

同年5月1日変更

同年5月7日届出

急性期 8減  
地域包括 6増

## 3 今後の方向性

西部区域における医療需要の動向に注視するとともに、引き続き地域医療構想等に示された施策の方向性等を踏まえ、地域包括ケアシステムの構築に向けた運営を行うこととします。

## 【ご参考】

現時点における主な対応は、次のとおりです。

- 今後も不足が見込まれる地域包括ケア病床の更なる増床を継続的に検討する。
- 退院後の受け皿としての在宅医療の強化を検討する。
- ICT機器の導入等により効率的な医療・介護提供体制を構築する。

以上